

すいさん山形

新年 謹賀

No. 368

令和5年 / 1 月号

山形県漁業協同組合
広報誌



漁民と手をつなく広報誌

Fish-1グランプリ

2連覇達成!!!



JF
JFやまがた

天然
プライド
魚目

庄内浜の

JF全漁連主催「第8回Fish-1グランプリ」が去る11月27日(日)、東京都日比谷公園にて開催され、約2万人が来場しました。

各漁連、府県漁協から応募があった中から、事前選考により選ばれた当漁協他、強豪5団体が出場し、それぞれ自慢の一品を出品しました。当漁協は、プライドフィッシュに登録されている庄内浜産のブランド魚を握った鮓、その名も「庄内浜の天然プライド鮓」で勝負。店には常に長蛇の列ができました。

その結果、前回に引き続き見事グランプリを受賞、二連覇達成という偉業を果たしました。今回、ご協力をいただきました関係者の皆様、会場に足を運び投票して下さった皆様、本当にありがとうございました。



新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 本間 昭志

新年明けましておめでとうございます。令和五年の新春を迎え、組合員の皆様、役員ならびに水産関係団体の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。さて令和四年を振り返りますと、国内外とも激動の一年でありました。

尖閣諸島や竹島、大和堆周辺漁場に關係する近隣国との關係が悪化、更には北朝鮮によるミサイル発射等、我が国周辺水域を巡る情勢は極めて緊迫化しています。新型コロナウイルス感染症は第八波の真っ只中にあり、ウィズコロナ政策により経済活動は動き出したものの、円安を伴った価格高騰に影響を与えております。

燃油、資材の高騰につきましては、政府の漁業経営セーフティーネット構築事業とは別に、昨年六月に山形県より約一億円の補正予算を立てて頂きました。

セーフティーネット構築事業での漁業者積立分を補填して頂くシステムは、漁業者から大きな評価を頂きました。また、地産地消、魚食普及にも繋がる県水産物の無償提供事業の予算に対し、

昨年十一月に吉村県知事には感謝を述べ、継続化の要望を行っております。

当組合が経営改善のため取り組んでいる「第6次中期経営改善計画」は最終年となり、これまでの総括を行い、その結果を以て新たな計画を組合員の皆様にお示しすることになります。

しかし、当漁協を取り巻く状況の変化は我々の想像をはるかに超えて悪化しており、これまでに無い大幅な経営改善も視野に入れ、漁協組織の健全化のために総力を挙げて各種事業推進の活性化に取り組んで参ります。

「経営基盤強化支援事業」では、加工事業について、新規企業への営業展開を始めた他に、山形市内にある生活協同組合協立社コープしろにし店に続く、第二号店への出店計画が進んでおります。これら経営改善策等の内容については地区座談会等で皆様にお諮り、報告させて頂きますが、経済事業の改革の実践については皆様のご理解とご協力が無ければ遂行は不可能であり、今後、当漁協が進むべき道を的確に捉え、皆様のご意見に耳を傾けていく所存で

あります。

昨年未までの当組合の経営状況は、基幹事業である販売事業については、いか釣り漁業の低迷により、十二月二十日現在、組合史上最低の水揚げとなりました。前年対比、二億五千万円増の十九億九千万円という状況で、計画に対しては下回る形で推移しております。中型いか釣り、定置網漁業の廃業、十二月の時化や底曳網漁業のハタハタの不漁が水揚げ高、水揚げ量の減少に繋がっている状況です。

当組合は、水揚げだけに依存する事の無い、安定経営が成り立つ組織として、経済事業の展開と組織改革を進めていかなければならない事は組織内外に表明しておりますが、主要経済事業は固より、加工事業の伸長、洋上風力発電に關連する各種調査事業の手数料収入の確保等、これまで以上に情報収集を重ね、事業利益の確保に努める所存であります。

新年を迎え、組織一丸となり諸問題の解決に努め、経営基盤の強化された組織構築を必ず実現しなければなりません。

ちなみに、今年の干支にあたる「癸卯」ですが、「癸」は新たな生命が成長し始めている状態を意味し、「卯」はうさぎのように跳ね上がるという意味があり、何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転すると言う意味があるそうです。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するようになると考えられています。

躍するようになると考えられています。

組合員・役員員の皆様には、経営の安定に向けた取組が、今年勢いよく成長し、飛躍する事を期待するとともに、引き続きのご支援、ご協力を切に願います。

最後になりましたが、全組合員をはじめ、関係役員にとりまして良い年でありますよう、また、操業の安全と大漁、一層のご繁栄・ご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



県漁協新年挨拶会の様子。(1/4本所講堂)



日本漁船保険組合
山形県支所運営委員長
伊原 光臣

令和五年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

平素は当組合業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和四年の本県の漁業・水産業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きましたが、それに加えてロシアによるウクライナ侵攻や急激に進んだ円安の影響により、燃料・資材が価格高騰し、漁業経営が一層厳しさを増した一年でありました。漁船保険事業におきましても、漁船隻数の減少や老朽化に起因する加入隻数の減少が進み、厳しい状況におかれております。

このような中、漁船保険は漁業経営のセーフティーネットとしての役割を果たすべく、すべての漁業者に安心を提供できますよう稼働漁船の全船加入、船主責任保険及びPB責任保険の推進、保険金の早期支払いを重要施策として、鋭意取り組んでまいります。

また、「漁業者のための漁船保険」の理念のもと、漁業者の信頼に応えられるよう更なる保険サービスの向上に役職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様からの変わらぬご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、本年が皆様方にとりまして、明るく爽やかな年になりますよう祈念し、新年のご挨拶をいたします。



全国合同漁業共済組合
山形県事務所運営委員長
本間 昭志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

令和2年度から実施して参りました「令和の備えも「ぎよさい」と「積立ぶらす」をスローガンに掲げた「ぎよさい普及推進全国運動」は令和4年度が最終年度、残りの3か月も漁業共済団体一丸となって普及推進に努めて参ります。

昨年を振り返りますと、未だ冷めやらぬ新型コロナウイルス感染症による水産業界への影響や急激な円安、ウクライナ問題などの国際情勢の悪化による燃料・飼料等の価格高騰が続いており、漁業経営のセーフティーネットとしての「ぎよさい」と「積立ぶらす」の役割の重要性を再認識する年となりました。

このように不漁や自然災害、コロナ禍など漁業を取り巻く環境が厳しいなか、「ぎよさい」と「積立ぶらす」による補償が漁業経営の継続に役立っている等、漁業者からの高い評価を頂いております。こうしたことも含め、制度の重要性が着実に漁業者に浸透しており、近年の共済加入率は高い割合で推移しています。自然災害対策・漁業経営対策としての「ぎよさい」と「積立ぶらす」への加入が、漁業経営に欠かせないものとなって来ている昨今、これからの漁業者からの制度への期待に応えていけるよう、事業の実施に努めて参ります。

最後に申し上げますが、コロナ禍の影響が続くなか、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。新たな一年を迎え、コロナ禍が一日も早く収束することと本年が災害のない豊漁・豊作となることをご祈念申し上げます。



JF共済東北事業本部山形支店
山形県JF共済推進本部
本部長
本間 昭志

新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

当事業運営につきましては、日頃より格別のお引き立てを賜わり厚く御礼を申し上げます。

本県推進本部は、「浜の安心を未来へひろげよう共済の輪 JF共済3か年度」の最終年度として、「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」という共済理念のもと、一人ひとりが笑顔になれる魅力ある浜づくりに貢献することを目指しています。

今年度は主力共済である生命共済「チョコー」と、建物共済「くらし」を中心としたキャンペーンを展開し、あわせてチョコー介護共済「あしすと」と「あしすとぶらす」の普及促進に向け、主要課題である共済事業量の目標達成に向け、全力で取り組んでいるところでもあります。

JF共済は組合員・地域住民の皆さまの生活を守る活動として全戸訪問活動を主体とした「浜のあんしんサポート運動」の実現に向け、個々のライフプランに合わせた保障点検活動を行ない、「浜に共済の輪をひろげよう」を合言葉に共済の普及拡大に努め、目標達成に向けて最大限の努力を図って参りたいと考えています。

最後になりますが、2023年が皆様方にとってますますの大漁と、災害の無い平穏な一年になりますことをご祈念申し上げますとともに、皆様方のお支えご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国漁業信用基金協会
山形支所 担当理事
加賀山 祐

新年明けましておめでとうございます。

当協会の業務運営につきましては、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

当協会は、漁業者の皆様が金融機関からの資金調達を円滑に行えるよう、その債務の保証を業務としております。水産業を取り巻く環境が厳しさを増している中、本年度の新規保証引受件数は前年度に比べ増加しましたが、金額的には同程度程度の引受状況となっております。当協会としては、本県水産業を持続可能な魅力ある産業とするために日々尽力されている漁業者の皆様への支援につながるよう、引き続き水産金融の円滑化に取り組んで参ります。

また、昨年8月には沿岸漁業改善資金が当協会の債務保証の対象に追加され、今後におきましても、保証対象資金の拡充や生活資金の積極的な保証対応等について検討を行うこととしております。本県水産業の振興を図るため、漁業者の皆様がサービスの向上や必要とされる安定した保証制度を提供できるように役職員一丸となって取り組んで参りますので、是非ご利用下さいませ。

最後になりますが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健康を祈念いたしまして、新年の挨拶をいたします。

「ぎよさい」と「積立ぶらす」で守る豊かな未来！



大口 年男さん・年女さん 大いに語る！

プロフィール

- ① 自分にとって過去1年間良い事ベスト1
- ② 卯年にかける夢
- ③ 漁協に期待すること（水産業全体でも良い）

昭和14年
生まれ



吹浦支所
土門 良一
どもん りょういち

酒田北港開港以来、吹浦新港に来ました。その頃は流砂に悩まされておりましたが、海岸線10カ所以上に亘るヘッドランド工事で何とか解消されました。当時、遊佐町（2号海区）は鮭定置の全盛期で、鮭定置が終わる頃に自船である海成丸にて張網漁業試験操業をしました。

その後、海成丸は周年操業に取組み、今年で23年目となります。

- ① 内孫（23歳）が4月より組合員となりました。満84歳となった私と息子、そして孫と、三人で操業出来ることです。
- ② 家内安全、大漁祈願
- ③ 国道7号線の改良や高速道路路整備に伴い、魚の流通も大きく進化してもらいたい。

昭和26年
生まれ



加茂出張所
佐藤 満
さとう みつる

加茂水産高校専攻科を卒業し、外航海運会社で大型輸送船・ばら積み船乗船勤務の後、母校に奉職しました。平成20年より磯見業に従事、現在に至ります。

① 明けましておめでとうございます。
コロナ禍、健康に暮らせたことが何よりでした。併せて、年初より船揚場と漁港内に堆積した大量の漂砂に悩まされましたが、秋口に浚渫工事を終えホッとしているところです。

② 安全操業出来ませう事。
資源量が激減しているアワビの生育・回復と海藻類の有効活用について、藻場環境の調査・観察に取り組んでみたい。次の世代に繋げよう。

③ 海洋環境の変化に伴う水産資源の減少による生産量の減少、漁業者数の減少、漁業経営の安定化等、多くの課題を抱えている中、漁業者自ら創意工夫を重ねていることに、敬意を表します。これまで以上に研究機関をはじめ関係機関との連携を深められますように。若者達とともに、浜の賑わいを取り戻しましょう。

「ぎよさい」と「積立がらす」で拓げる浜の安心！

昭和26年
生まれ



温海出張所

佐藤 清八郎
さとう きやほちろう

加茂水産高校専攻科卒業後、日魯漁業に入社しました。退職後地元に戻り、着火船で延縄漁業を5年間営みました。平成元年より磯見漁業に従事し現在に至ります。

①新年明けましておめでとございます。内孫も二人に増え、家族全員何事も無く健康に過ごせた事です。
②磯見漁は平成二十七年頃よりアワビ、モスクが年々不漁となり、岩力キもその年によって身入りが良かったり、悪かったりの近年です。昔の様に何も考えずに漁が出来る海に、戻ってほしいと願っています。
③漁協の利益は、水場と水産加工場、庄内海丸の売り上げだけでは安定しないと思います。これを、ある程度カバー出来るような収入を得られる事業を考えてみてはどうでしょうか。

昭和26年
生まれ



飛島支所

齋藤 勤
さいとう つとむ

中学校を卒業後、イカ釣り船とマス流し網船に乗船しました。結婚を機に家業の旅館業を営みながら、磯見漁や刺し網漁業に従事し現在に至ります。
①コロナ流行前は毎年孫に会っていたが、3〜4年会うことができなかった。孫に会う為、石川県金沢市まで行き、久しぶりに孫の顔を見れたことが昨年一番良かった事です。
②今年は、海が穏やかで風が続くことを期待したいです。忙しく商売出来たらうれしく思います。また、体に気を付けて健康第一で漁業を続けていきたいです。
③コロナが流行した当初は、魚価が低迷していました。段々と戻りつつあると感じています。このまま、魚価向上を期待します。

これからも、漁業者と漁協職員が協力して水産業をより良くしていけたらと思います。

昭和26年
生まれ



豊浦支所

佐藤 健吾
さとう けんご

定年後、少しずつ磯見漁を始め、その間県漁協の油槽船「第5ちとせ丸」に4年間お世話になりました。その後専業となり、今年で3年目となります。まだまだ未熟者ですが諸先輩方にアドバイスをいただきながら自分なりに頑張っています。

①磯見漁の合間に畑仕事をしています。この辺りが北限といわれている(?)ゆずの苗木を植え、ようやく昨年11月に約30個の実を付け、収穫できたこと。しばらくゆず風呂に入ることができました。
②ウサギのようにびよんびよん跳ねながら、腰痛を吹き飛ばし磯見漁の回数を徐々に増やしていきたいと思えます。
③次世代を担う子供たちに残せるような「きれいな海」と「限りある資源の保護」の為に頑張っていきたいと思います。

昭和38年
生まれ



さかた総合市場

田代 善幸
たしろ よしゆき

加茂水産高校卒業後、父が経営する善龍丸に乗船。底曳網漁業を行いながら、夏はカキ漁を営んでいます。

①昨年初めの試みとして、エビ曳に挑戦した結果水揚げが多くなったことです。
水場を増やすために様々な努力をしても報われないことがあるが、昨年はうまくいってよかった。
②水揚げが落ち込む時期に、漁獲量向上のため新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。失敗することもあるけれど、新しいことにチャレンジできる年にしていければいいなと思います。
③山形県の漁業者が年々減少している中で、底曳網漁業でも前から比べると隻数が減少しています。そこで、底曳の乗組員等の中で、船頭になりたいという意思がある人の助けになるような仕組みを考えてほしい。また、油や資材が高騰しているので支援等お願いしたいです。

昭和50年
生まれ



念珠閣総括支所

佐藤 優子
さとう ゆうこ

漁師の家(大洋丸)に嫁いで8年目に入ります。浜に行くようになってまだ5年弱です。先輩方や漁協職員の皆さんに助けってもらいながら頑張っています。

①終わりの見えないコロナ禍で、楽しいことが減った気がしますが、家族が大きい病気やケガがなく過ごせたことです。
②息子が小学校入学なので、私も負けずに健康第一で稼業を頑張ります。
③山形県はまだまだお米・果物のイメージが強くとおもいます。県内外の人にもっと庄内浜を知って、食べて、楽しんでほしいです。「山形県↓芋煮」のように山形県の目玉となることができるようにお願いします。

平成23年
生まれ



由良総括支所

佐藤 琉翔
さとう りゅうと

第八長寶丸の次男として生まれ、現在サッカースポーツ少年団「豊浦JrFC」に所属し、毎日サッカーを頑張っています。好きな食べ物は、おばあちゃんが作るエビ焼きとエビの味噌汁です。

①鶴岡市のわんぱく相撲で入賞し、全国大会に出場したことです。テレビで何度も見たことのある両国国技館で相撲が取れた感動は忘れられません。
②サッカーが上手になるために日々努力し、全試合出場することです。
③(お父さんやおじいちゃんに期待すること)大漁満足です。無事に帰ってくることをいつも願っています。

令和5年度 水産業の振興に関する要望書を提出



山形県知事



庄内総合支庁



酒田市長



鶴岡市長



遊佐町長



に必要な漁業貢献策の検討に着手していきま
 しかしながら、水産分野、エネルギー分野をめぐ
 方面のご理解とご協力がなければ解決困難な課題が多
 県をはじめとする市町行政に支援を要請しました。
 要望書の骨子は以下の通りです。

新型コロナウイルス感染症については、ウイズコロナが提唱されたことにより、ようやく社会経済活動が動き出したことで、魚価のさらなる低迷に歯止めがかかったものと安堵しているところ
 漁業の相次ぐ廃業、ロシアのウクライナ侵攻によるロシア水域での操業問題など、本県水産業は、いまだかつてない国際問題に翻弄されています。
 このような中、当組合では漁業の持続的発展や漁業所得向上を目指し、総力を挙げ各種事業推進・浜の活性化に取り組んでいるところです。
 また、山形県のエネルギー戦略に関しては、遊佐沖で再エネ海域利用法に関する法定協議会が開催され、酒田沖でも国による調査と地域部会が立ち上がり、2つの事業案が検討されています。当組合も漁業所得の増大と漁協の経営基盤強化を念頭に置き、漁業継続

要望事項の骨子

1. 庄内浜産水産物の販売促進について
2. 漁協経営基盤強化に対する支援について
3. つくり育てる漁業の推進について
4. 漁業の担い手育成・確保の強化について
5. 水産業の成長産業化のための漁業生産構造改革の更なる推進について
6. 港湾施設の整備充実について
7. 漁港施設の整備充実について
8. 一般海域の漁場整備について
9. 県行政と山形県漁協が一体となった遊佐沖洋上風力発電事業（仮称）の慎重なる検討と推進について

理事会情報

令和4年度 第7回 理事会議案
 開催日…令和4年12月13日(火)
 場所…鶴岡市 ホテル八乙女

【協議事項】

- 1 令和4年11月末現在収支状況について
- 2 令和4年度上半期監事監査の結果について
- 3 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
- 4 さくらます刺網漁業の承認について
- 5 年末年始の取扱いについて
- 6 貸付金の審議について
- 7 山形県の海区漁場計画（案）に対する意見について

【報告事項】

- 1 2022年度（第37回）漁協運動功労者表彰及びJF全漁連創立70周年記念功労者表彰の受賞について
- 2 令和4年度JFマリンバンクモニターリングの結果について
- 3 貸付金利率の改定について
- 4 組合員の加入・脱退について
- 5 その他



活イカ 調理講習会

11月29日
酒田市総合
文化センター



酒田市、県漁協、水産研究所が中心となって活動しているブランド化検討部会では、スルメイカをはじめとするイカ類のブランド化検討の一環として「活イカ調理講習会」を開催しました。講師として活イカのスペシャリストである函館の春木商店 代表取締役・春木日出夫氏をお招きし、前半は函館での活イカ流通の実例紹介や取り扱いの講話、後半は活スルメイカと活ヤリイカの

活き造りを実演いただきました。出席者の漁業者、流通関係、料理人の中には初めて活き造りを食べるといふ方も多く、コリコリした食感に感嘆の声が漏れていました。春木氏の豊富な経験に裏打ちされた実践的なアドバイスいただいたことや、試食をもって活イカの魅力を体感できたことは、庄内浜での活イカ流通実現へ想いを強める好機となりました。今後も幅広い方々との連携を強化しブランド化に向けた取り組みを進めてまいります。

水産研究所 資源利用部 五十嵐 悠



第29回 全国漁船保険 推進のつどい



「全国漁船保険推進のつどい」は、漁船保険と全国の漁業協同組合との結びつきを深め、漁船保険事業のより一層の発展充実を図るとともに、漁船保険業務に携わる漁協の担当者の日頃の協力に、感謝の意を表することを目的として開催されているものです。今年度は11月10日、東京都目黒区のホテル雅叙園東京で3年ぶりの開催となりました。

式典では日本漁船保険 三宅哲夫会長から「この3年はコロナ禍という非常事態の中での事業運営となったが、皆様のご支援とご協力のもと順調に事業運営を進めることができた。」と挨拶があり、次いで来賓として神谷崇水産庁長官と白須敏朗大日本水産会会長、坂本雅信全国漁業協同組合連合会代表理事会長が祝辞を述べられました。

本県からは山形県漁業協同組合の伊原光臣理事、安藤大栄総務部長（兼）管理課長、佐藤健指導課長が出席され三宅会長より感謝状が贈られました。

漁船保険事業に対する長年のご協力に感謝申し上げますと共に、今後ともご支援・ご指導をお願い申し上げます。

申告漏れがあった場合には…

売上げに関する帳簿を作成・保存していない事業者の方は加算税が重くなります

改正
内容

帳簿を作成・保存する義務のある事業者の方について、売上げに関する帳簿を保存していなかったことや帳簿の売上げについての記載が不十分であったことが税務調査において把握された場合には、帳簿に記載すべき事項に関する申告漏れ等に対して通常課される**加算税（過少申告加算税・無申告加算税）の割合が最大10%加重**される措置が講じられました。

※ 令和6年1月1日以後に法定申告期限等が到来する申告所得税・法人税・消費税について適用されます。
(例) 申告所得税の場合は、令和5年分の確定申告に対する修正申告等から対象

対象となる事業者

- ✓ 事業所得、不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行う **個人事業者**
- ✓ **法人**
- ✓ 消費税の **課税事業者**

会計ソフトを利用することで簡単に帳簿の作成ができます。会計ソフトの利用をぜひご検討ください。



対象となる帳簿

- ✓ **仕訳帳・総勘定元帳**の売上げ（収入）の金額に関する部分
- ✓ **売上帳・現金出納帳**などの売上げ（収入）の金額が確認できる帳簿

個人事業者の記帳・帳簿等の保存制度や、加算税の加重措置に関するQ&Aについては、国税庁ホームページをご覧ください。



記帳・帳簿等の保存制度



加重措置に関するQ & A



**山形県沿岸
青年漁友会**

マダラ活締め方法の改良に伴う講習会開催

11月22日(火)に県漁協由良総括支所において、山形県沿岸青年漁友会主催のマダラ活締め講習会が開催され、講師として山形県水産研究所の高木主任専門研究員、塚形主任専門航海士、五十嵐研究員の三名に参加していただきました。

講習会では、座学で基礎となる活締めの必要性を学んだ後、参加者によるタラを用いた改良版活締め方法の実技等が行われました。

活締めの効果には、①延髄切りによる魚の動きを止め鮮度を保つ効果、②血抜きによる腐敗の原因となる血液を抜く効果、③冷やし込みによる酵素の活性を抑え腐敗を遅らせる効果、と大きく三つの効果があり、締めていないものに比べると、より鮮度を保持することができます。

特にマダラは、身はもちろんのこと、白子、卵巣、肝臓など様々な内臓部が可食できることから、「鮮度保持が非常に重要な魚種」なのですが、現状マダラの活締めの方法が統一されておらず、「品質のばらつき」が見られている課題がありました。また、料理人からも「背骨を切断する方法で活締めされた魚は調理がしづらい」等の声が挙げられており、さらには船上で硬い背骨を包丁で切断することは、大変危険な作業でした。

そこで、高木主任専門研究員が中心となり、漁友会の富樫会長と第二十一輝修丸の協力によって、新たなマダラの活締め方法が考案されました。

この新たな方法は、包丁ではなく延髄のみを刺突し切

断する道具を使用することで危険性が減少されるとともに、魚体の傷口が小さくなるので見た目と調理のしやすさも改善されます。さらに、従来の動脈球を切断する方法ではなく、エラを一枚切断して心臓のポンプ機能を活かし、流水で血抜きを行うことで、体腔内（内臓部分）への血液の流入を防ぐことができ、「内臓部の鮮度がより保てる」ようになります。



「冷やし込み」についても、冷水機等で30分以上かけて魚体の中心まで冷やすことで、従来の方法に比べ、より一層鮮度が保たれます。

参加者からは、「これなら簡単で危険も少ない」「これまで以上に鮮度を保てると思う」など良い意見があり、是非とも推進すべき取組みであると考えます。

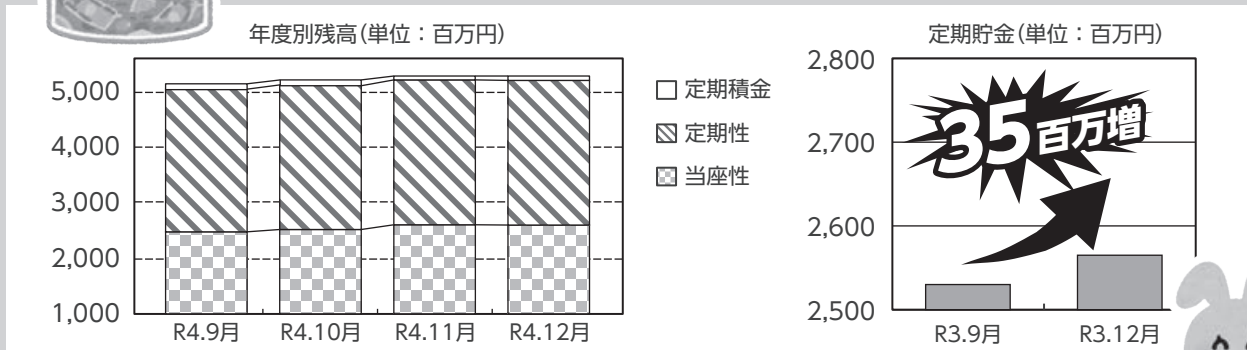
最後になりますが、活締めについては今後も漁業者の皆様からより良い方法を「考え・見つけてほしい」と考えています。今回学んだ方法は今後の礎としていただき、マダラに限らず、庄内浜で水揚げされる様々な水産物が、より良いものになってほしいと願います。 指導課 佐藤 悠太郎

**全国統一キャンペーン
漁協みな貯金運動**

ご協力ありがとうございました!!



「みな貯金運動」へのご協力ありがとうございました！
当組合では、10月1日から12月30日まで「今年も貯めよう。貯金キャンペーン」と題して、3ヵ月にわたって展開してまいりました。
期間中は、お客様をはじめ組合員、関係団体ほか多くの皆様からご協力を賜り、誠にありがとうございました。
今年度は定期貯金を中心に9月末より117百万円の増加で終了いたしました。
また、新規契約者特典品の「スタンドキッチンツール5点セット」、「ステンレスタンブラーペアセット」、「オープン対応耐熱ガラス」につきましては大変ご好評をいただきました。
今後ともより一層のご愛顧を頂きますようお願い申し上げます。

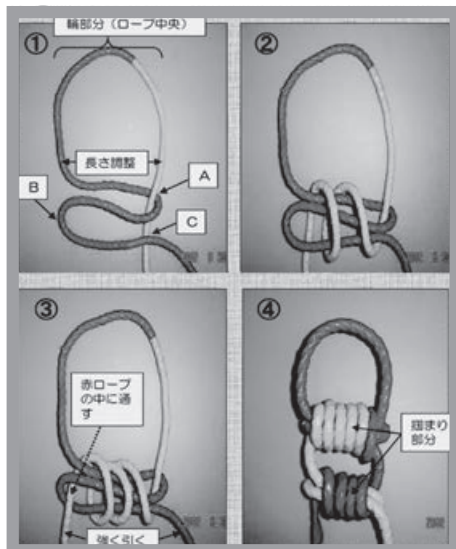


今後とも、年金振込や公共料金・各種ローンなど、より一層ご愛顧頂きますようお願い申し上げます。



酒保の海だより

明けましておめでとうございます 酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第五弾！！
冬本番！船からの転落に備え、いち早く水からあがるための縄梯子設置をお勧めします。
防舷材として垂らしておける縄のみで作る梯子の作り方を紹介します。



設置場所はスクリュー付近から離れた弦が垂直な場所が良い

✖ねじれる ○安定する



詳しい作り方はこちらのQRコードから→

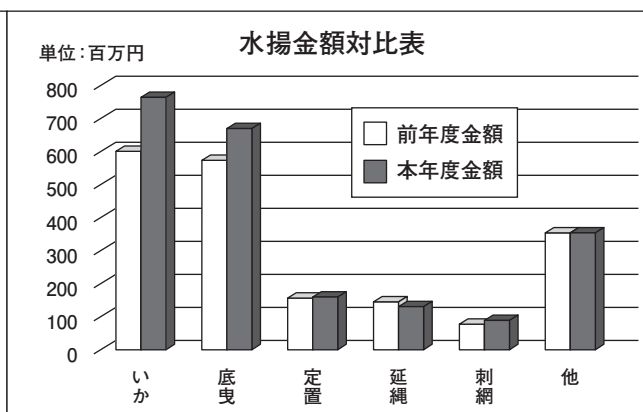
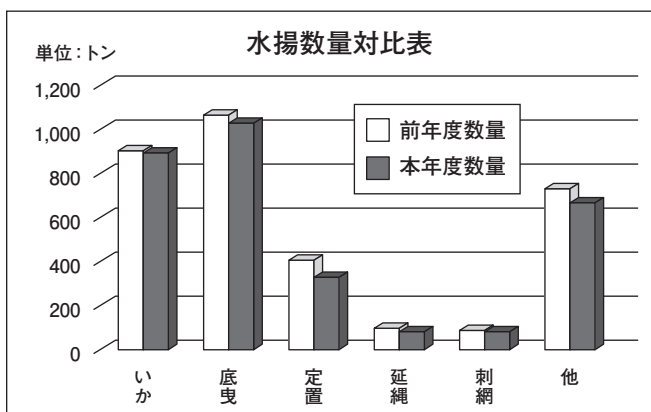
JCG 海の事件・事故は電話118番 酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和4年12月31日現在

(単位：kg, 千円)

	12月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	12月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	55,172	1,026,064	1,063,950	▲37,886	77,330	671,429	571,642	99,787
2 刺網漁業	3,063	88,150	89,593	▲1,443	3,462	86,938	74,073	12,865
3 いか一本釣漁業	3,695	416,410	104,266	312,144	4,509	252,270	72,751	179,519
4 船凍いか釣漁業	19,352	479,200	795,000	▲315,800	22,761	511,893	526,867	▲14,974
5 はえなわ漁業	2,297	84,568	103,845	▲19,277	5,932	129,875	143,840	▲13,965
6 ごち網漁業	16	92,319	89,395	2,924	14	58,412	48,187	10,225
7 定置網漁業	36,364	328,919	407,089	▲78,170	23,858	156,427	157,014	▲587
8 採貝藻漁業	1,355	69,019	100,260	▲31,241	1,796	60,489	76,557	▲16,068
9 その他の漁業	9,701	502,330	536,653	▲34,323	3,278	167,969	158,323	9,646
10 張網漁業	0	7,525	3,123	4,402	0	3,923	1,317	2,606
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	3,972	60,553	66,887	▲6,334
合計	131,015	3,094,504	3,293,174	▲198,670	146,912	2,160,178	1,897,458	262,720



「ぎよさい」と「積立paraす」で実現！ 安心経営！

水揚情報

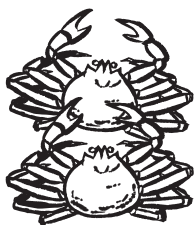
令和4年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		1,956,691	71,784	48,210	897,933	106,387	226,241	130,946	27,461	447,729
月間水揚	県内船水揚	116,617	8,361	471	16,331	3,866	32,218	14,331	898	40,141
	県外船水揚	26,323	0	0	26,323	0	0	0	0	0
	合計	142,940	8,361	471	42,654	3,866	32,218	14,331	898	40,141
前年同月水揚		143,833	8,427	2,373	47,375	3,593	27,543	11,162	1,145	42,215
本年度水揚	県内船水揚	1,377,387	80,145	48,681	276,744	110,253	258,459	145,277	28,359	429,469
	県外船水揚	722,243	0	0	663,843	0	0	0	0	58,400
	合計	2,099,630	80,145	48,681	940,587	110,253	258,459	145,277	28,359	487,869
前年度水揚累計		1,830,564	68,899	39,421	822,453	106,619	220,670	132,153	30,426	409,923
増減		269,066	11,246	9,260	118,134	3,634	37,789	13,124	-2,067	77,946
本年度水揚計画		2,400,000	95,000	68,500	1,047,000	144,500	308,000	195,000	34,000	508,000
達成率		87.4%	84.3%	71.0%	89.8%	76.2%	83.9%	74.5%	83.4%	96.0%

今あがっている魚 - 12月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)			魚獲量(kg)		
1	ずわいがに	28,061 ↗		1	するめいか
2	するめいか	26,418 ↘	2	たい	23,894 ↘
3	たい	13,094 ↘	3	べにずわい	13,890 ↘
4	ほっこくあかえび	9,029 ↘	4	ぶり・いなだ	13,658 ↘
5	さけ	8,468 ↘	5	あじ	8,738 ↗
6	はたはた	6,308 ↘	6	さけ	8,019 ↘
7	さわら	5,655 ↗	7	たら	6,065 ↘
8	女かに	4,940 ↗	8	はたはた	5,785 ↘
9	ぶり・いなだ	4,382 ↘	9	ほっこくあかえび	5,056 ↘
10	あじ	2,762 ↗	10	さわら	3,784 ↘



月間MVP



月間MVP



◆新年あけましておめでとうございます。2023年の干支は「卯(うさぎ)」ですが、「寅(とら)を走り、卯は跳ねる」という格言があり卯年の相場は俗に上昇相場といわれているそうです。(ウイキペディアより引用)。今年の日本の経済も魚価もうさぎのように「ピョンピョン」と上昇機運となることを願っております。

◆新年早々大阪の淀川河口に迷い込んだマッコウクジラ「淀ちゃん」が話題になりましたが、庄内浜でも聞きなれないホシフグの大量漂着があったばかりです。また、先日鳥取県の岩見町で長さ3mのダイオウイカが海岸に死んであがっていたそうです。寒い冬の日本各地の海岸にいろいろないきものが来ているようです。

◆一昨年北海道で季節外れの赤潮によるサケやウニのへい死被害が起こりましたが、報道によるとその後の研究の結果、有害プランクトンが大量に発生した原因の一つは「海洋熱波」(海水温が例年になく長期にわたり高くなる現象)と考えられているそうです。

赤潮が発生した海底ではウニが全滅したのですが、一年後には大きなウニや漁業者が放流した稚ウニがみられており、自然のしたたかな回復力と漁業者のなんとかしようという努力に感動しました。

◆「すいさん山形」では皆様のお役に立つ情報を届けられるよう編集委員一同取り組んでまいりますので、引き続きご意見・情報をいただきますようよろしくお願いいたします。

水産研究所 海洋資源調査部

専門研究員 平野 央

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で守ろう漁業経営!

伊関 豊氏 旭日単光章受章並びに令和4年度水産功績者表彰受章

山形県定置網漁業組合長の伊関豊氏が、令和4年秋の叙勲にて旭日単光章を受章しました。この章は、各分野における顕著な功績のあった者へ授与される日本の勲章の一つです。

今回受章された伊関氏は、学校を卒業後、家業である漁業に従事され、27歳から定置網漁業の実質的経営に携わりました。その後、昭和63年に弟である勉氏とともに有限会社仁三郎を立ち上げ取締役に就任し現在に至ります。

その間、昭和62年からは当組合総代の要職を務められながら、特に鮭の資源保護には大変な情熱をもって取り組み、山形県鮭人工ふ化事業連合会との事業調整にもご尽力され、県内における定置網漁業振興のため、重責を果たされました。

また、県内水産高校の卒業生や地域の失業者等に漁業研修を行い、乗組員として雇用する等、担い手の確保・育成にも注力されているほか、県内初となる海水流動水の施設設置を行い、首都圏を中心とした他都道府県への県産水産物の販路拡大によって魚価の向上にも努める等、数々の功績を残されています。



2列目左 伊関豊氏

指導・統率力に優れている伊関氏は地元地区だけではなく、県内漁業者や水産関係者からの信頼も厚く、山形県における定置網漁業の維持発展に寄与してきた功績には大なるものがあります。

こうした功績から、伊関氏は去る10月18日開催の（一社）大日本水産会水産功績者表彰委員会においても令和4年度水産功績者として表彰が決定しました。



佐藤 長悦郎氏 令和4年度山形県水産業賞受賞

去る11月24日(木)ホテルメトロポリタン山形（山形市）にて山形県水産業賞の表彰式が行われ、豊浦支所所属の佐藤長悦郎氏が受賞されました。

この賞は、長年にわたり水産業に精励し、経営改善や水産物の付加価値向上、技術開発等に功績があった個人や団体、水産業関係団体の指導的立場にあり、他の水産業者の模範となる功績があった個人や団体を表彰するものとして、昭和54年に創設され、以降令和3年まで45個人、8団体に授与されております。

佐藤氏は、昭和43年に県内水産高校を卒業後漁師となり、底びき網漁業、さけます流し網漁業、いか一本釣り漁業、大目流網漁業に従事しました。

その間、佐藤氏が操業する中型漁船を取り巻く状況は、200海里体制の定着により世界の海で遠洋漁業を行うことが出来なくなったことに加え、二度にわたるオイルショックの影響から、減船・廃業が相次ぐという困難な時代にありましたが、そのような状況下においても、佐藤氏は漁業者間の調整に懸命に取り組まれ、漁業の継続を行ってまいりました。



左から2番目 佐藤長悦郎氏

その後、平成8年によりやく自身が所有する漁船の改造工事を行い、漁獲量を大幅に拡大させることに成功しました。

また、佐藤氏は操業の傍ら、山形中型漁業振興会の会長職の他、平成28年からは山形県船友漁撈長会の船団長を6年間務め、他県船団との操業調整や情報交換等を行われてきました。また、水産庁に対しては排他的経済水域（EEZ）における漁場の操業実態など、ロシア等との漁業交渉に繋がる説明や要望を行う等、水産業の発展・育成に尽力され数々の重責を果たされました。



この度の受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

令和5年度 水産業成長産業化 支援事業補助金説明会 実施のお知らせ

山形県の水産業を持続し成長する魅力ある産業とするため、漁業者等が実施する取組みをオーダーメイド型で支援する水産業成長産業化支援事業費補助金（オーダーメイド型補助金）を令和5年度も実施いたします。

補助事業の実施に伴い、事業の内容や申請等に関して事前の説明会を下記のとおり実施いたしますので、事業を活用されたい方はご参加いただけますようお願いいたします。

なお、市町においては、要望が多く、予定している事業規模を超える場合もあります。そういった場合についての説明も行う予定をしておりますので、多くの方からのご参加をお待ちしております。

日程 令和5年2月14日(火)

時間
場所

酒田市・遊佐町

時間／10：00～11：00 場所／本所

鶴岡市（由良）

時間／13：00～14：00 場所／由良総括支所

鶴岡市（鼠ヶ関）

時間／15：00～16：00 場所／鼠ヶ関総括支所

遊佐町／水産林業係 TEL 0234-72-4521 酒田市／農林水産課 TEL 0234-26-5753
鶴岡市／農山漁村振興課水産班 TEL 0235-25-2111（内線559）